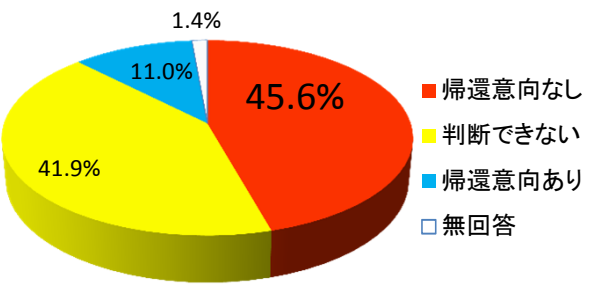
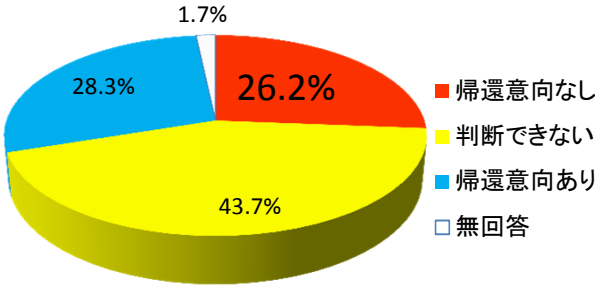
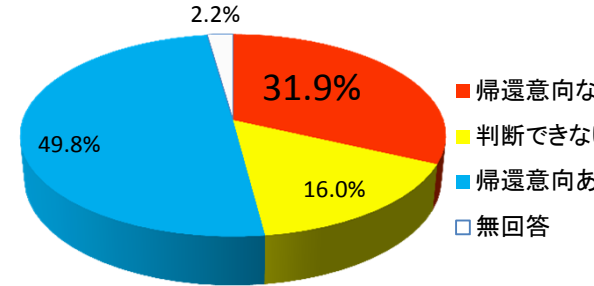
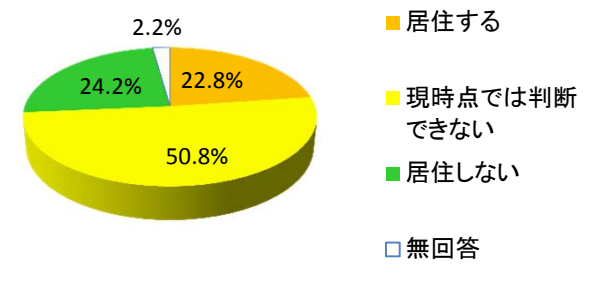
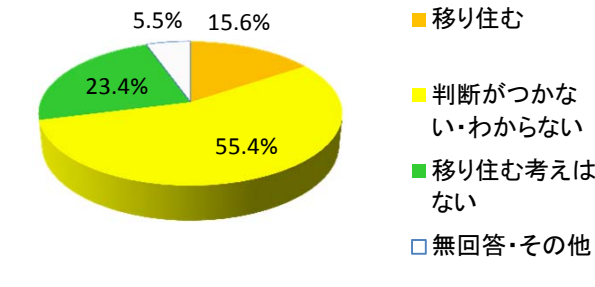


被災自治体における住民意向調査の実施概要

市町村	大熊町		浪江町		富岡町		双葉町		
実施主体	復興庁・福島県・大熊町		浪江町(単独)		富岡町(単独)				
調査時期	平成24年9月		平成24年6月		平成24年7~8月		調査未実施		
対象	全世帯主(分散避難の代表者含む)		高校生以上の全町民		全世帯主(分散避難の代表者含む)				
配布数	5,378 世帯		18,258 人		7,150 世帯				
回答数	3,424 世帯		11,222 人		3,159 世帯				
回収率	63.7%		61.5%		44.2%				
帰還意向	帰還意向なし	戻らないと決めている	45.6%	戻らない	26.2%	戻らない	31.9%		
	判断できない	現時点で判断がつかない	41.9%	帰町不明・わからない	43.7%	わからない	16.0%		
	帰還意向あり	現時点で戻りたいと考えている	11.0%	帰還するまでの間町が整備する場所で待つ	10.3%	居住地を自ら選択し帰れるまで待つ	25.7%	災害公営住宅の居住し帰れるまで待つ	24.2%
			11.0%		帰還するまでの間自ら選択する場所で待つ		18.0%		49.8%
無回答	無回答	1.4%	無回答	1.7%	無回答	2.2%			
									
帰還しない理由 (上位5位)	1位 放射線量に対する不安があるから 2位 原子力発電所の安全性に不安があるから 3位 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから 4位 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから 5位 医療環境に不安があるから		1位 事故の収束 ※ 2位 放射線量低下 ※ 3位 インフラの復旧 ※ 4位 仕事の確保 ※ 5位 自宅の再建 ※		1位 放射線が心配だから 2位 復興できると思わないから 3位 原子力災害により家屋が住める状況ではないから 4位 病院や商店などができないと思うから 5位 子供の健康や教育が心配だから				
町外コミュニティ等への 居住意向	居住する	22.8%	移り住む	15.6%	—		—		
	現時点では判断できない	50.8%	判断がつかない・わからない	55.4%	—		—		
	居住しない	24.2%	移り住む考えはない	23.4%	—		—		
	無回答	2.2%	無回答・その他	5.5%	—		—		
									
今後のスケジュール	—		復興庁調査開始: 12月以降(予定) 調査結果公表: 1月以降(予定)		復興庁調査開始: 12月(予定) 調査結果公表: 1月(予定)		復興庁調査開始: 12月(予定) 調査結果公表: 1月(予定)		